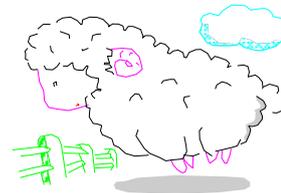


# こひつじ新聞



平成26年 3月 31日 発行

発行元 白河こひつじ学園 福島県西白河郡西郷村小田倉上上野原156-1

TEL0248-25-2055 FAX0248-25-6035

第5号

## 卒業おめでとう



3月18日(火)に高等部生、19日(水)に小中学部生の卒業式が行われました。

今年度は高等部5名、中学部1名、小学部3名が卒業を迎えています。

素敵な服装で、堂々と卒業証書を受け取る姿に成長が感じられ、沢山の思い出がよみがえる日でもありました。

卒業おめでとう！！



年記念



# 自治会任期 終了式

がんばりました。



3/21自治会「かぶとむし  
会」の任期終了式を行いま  
した。  
会長の挨拶から始まり、1  
年を楽しく振り返りました。  
役員3名、1年間ご苦労  
様でした。来年度も役員に  
立候補するのかな・・・？



# ♪こひつじ写真館



# 節分



迫力のある鬼を見、驚  
いて豆を投げる余裕が  
なかった子も・・・  
それでもみんなで協力  
し、鬼退治をすることが  
出来ました。

こわーい！



オニは外～！！



# 手作りおやつ

月に1回のペース  
でおやつ作り活動をし  
ています。  
エプロンや割烹着  
に着替えて材料を目  
の前にすると、気分  
は一流パティシエで  
す。



## 1~3月の出来事

- 1/31 手作りおやつ 避難訓練
- 1/14 佐藤宥輝くん歓迎会
- 1/27 1月誕生会
- 2/3 節分
- 2/10 手作りおやつ バレンタイン
- 2/17 2月誕生会
- 3/3 ひな祭り 避難訓練
- 3/19 避難訓練



# 新しい年度を迎えるにあたって

園長 山下勝弘

西郷養護学校高等部卒業式に参加して祝辞を述べながら、心に迫ってくるものがありました。それは、「この卒業生は、2011年3月の東日本大地震とそれに続く原子力発電所放射能被害発生直後に入学し、3年間の高等部生活を過ごしたのだ」という感慨であり、同時に学園で生活している児童のこれまでの3年間を、あらためて意識させるものでした。

「なにが変わったのだろう」と3年間を振り返ってみたときに、放射能被害対策では、2011年9月に実施したグラウンドの放射能除染作業の結果発生した汚染土は、その時の状態のまま現在もグラウンドの片隅に仮置きされたままです。学園周辺の除染作業も依然として実施されていません。

この影響で変わったのは、学園で生活する児童の生活様式です。たとえば、いつの間にか自発的にグラウンドで遊ぶ児童の姿は少なくなり、室内での活動に児童の関心が集まっています。2011年3月以前の児童の学園生活と比較すると、「正常化する」「これまでの普通の生活にもどす」必要のある部分が、生活の中で当然のように定着していると思えることがあります。

学園生活でも、家庭生活、社会生活でも「どんな毎日を過ごすように、なにを支援することが、児童にとって必要であり、大切なのだろうか?」……、このことをともに考えながら、4月からの新年度、2014年度を迎えましょう。

## みんなの家、みんなの声

苦情解決委員会 結集報告  
苦情解決委員会 結集報告

こひつじ学園には、苦情解決委員会があり、子ども達の生活・環境・職員の対応など、学園への要望を受け付けています。

今年度は、保護者の方より支援のあり方についてのご意見・ご指摘をいただき、職員全体で意識を確認しあう機会を持ちました。

今後も、よりよい支援を目指して行くにあたり、お気づきのことがありましたら、些細なことでもご相談・ご報告下さい。

ご相談を受けたことについては、学園全体で解決に取り組み、支援の向上に活かします。

## 編集後記

大雪、インフルエンザの流行と、何かと慌ただしい毎日でしたが、

保護者の方々のご配慮をいただき、何とか乗り切ることが出来ました。

遅ればせではありますが、感謝を申し上げます。

「健康」って本当に嬉しいことなんだと実感することが出来

